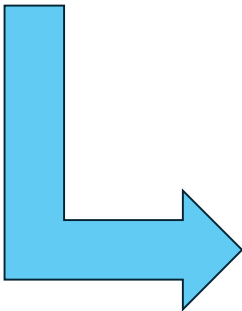


○パターン選択の例

事業所A～Fを運営する法人Xの例です。
なお、ここでの「件」とは、事業所における利用者ごとの請求件数を指します。

		請求状況				計画書提出時期 該当パターン	補助額算定対象 (選択する基準月)
		R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月以降		
法人X	事業所A	R7.12サービス提供（100件）	全件（100件）請求 （100件審査済み）			Aパターン	12月分全件（100件）
	事業所B	R7.12サービス提供（100件）	98件請求 （98件審査済み）	R8.2に2件月遅れ請求 （100件審査済み）		Bパターン	12月分全件（100件）
	事業所C	R7.12サービス提供（100件）	全件（100件）請求 ただし、一部（10件）に誤りあり （100件審査済み）	一部（10件）取下げ、再請求 （10件再審査）		Bパターン	12月分全件（100件）
	事業所D	R7.12サービス提供（100件）	不備等により全件請求できなかった（0件）	月遅れで全件（100件）請求 （100件審査済み）		Bパターン	12月分全件（100件）
	事業所E	R7.12サービス提供（100件）	全件（100件）請求 ただし、一部（10件）に誤りあり （100件審査済み）		R8.4に一部（10件）取下げ（90件 審査済み） R8.5月に一部（10件）再請求 （100件審査済み）	Bパターンで算定しても、R8.4までに請求された情報をもとに補助額が算定されるため、審査済みの90件分に対応する補助額しか算定されません。12月の請求情報に誤りがなければ確認し、必ず4月までに再請求を行ってください。	
	事業所F			R8.2に新規開設	全件（50件）請求 （50件審査済み）	Bパターン	2月分全件（50件）
	事業所G	R7.12サービス提供（5件） ※感染症の蔓延で著しく提供数が少ない	R8.1サービス提供（50件）	R8.1分全件（50件）請求 （50件審査済み）		Bパターン	1月分全件（50件）



上記をまとめると、法人Xは以下の組み合わせで計画書提出を提出します。

計 画 書	
法人X	愛知県知事殿
事業所 A（基準月：12月）	

Aパターンの計画書受付時に提出

計 画 書	
法人X	愛知県知事殿
事業所 B（基準月：12月） 事業所 C（基準月：12月） 事業所 D（基準月：12月） 事業所 E（基準月：12月） 事業所 F（基準月：2月） 事業所 G（基準月：1月）	

Bパターンの計画書受付時に提出